

とちぎ夢大地応援団活動報告（9月22日実施）

栃木市都賀町 大柿地区「耕作放棄地の草刈り・遊歩道づくり」

都賀町大柿地区は国道293号沿いのホタルが乱舞する農村地域ですが、農地や山林の荒廃に伴いイノシシによる農作物の被害が生じ、防止柵の設置等を行っていますが根本的な対策が課題となっています。一方、大柿地区では大柿コミュニティセンターを核に地域資源を活用した自然観察や農作業体験活動ができる施設として、遊歩道や体験ほ場・ピオトープ等諸々の整備を計画しています。

今年度は獣害対策と整備の第一歩として、イノシシの住処となっている耕作放棄地の刈り払いと遊歩道づくり、山林内の倒木の片付けを行いました。

活動当日は天候にも恵まれ、地元の大柿の郷を守る会・NPO法人「ふるさと」の方々に加え、とちぎ夢大地応援団・森林ボランティア・環境カウンセラー協会等のボランティア16名、関係者10名の総勢45名が参加しました。ボランティアの方々は近隣の市はもとより足利市や大田原市・宇都宮市など遠方から駆けつけて頂きました。

○ 開会式

9時から大柿コミュニティセンターで開会式を行い、地元の小倉副代表から歓迎のあいさつを頂いた後、参加者全員の記念写真を撮影し「やるぞ！」のかけ声とともに活動を開始。草刈り、遊歩道づくり、倒木片付けの3班に分かれ、それぞれの持ち場に移動後作業に取りかかりました。



参加者



← コミュニティセンター前の土手に咲く彼岸花

○ 草刈り

2カ所の耕作放棄地（約 60a）で、身の丈を越える雑草が生い茂る中の草刈りとなりました。イノシシの住処となっており、作業に当たった方から「3カ所寝床を見つけた」と声がありました。きれいに刈り払いしたため、イノシシが現れないことを期待します。

草刈り1（キャンプ場予定地）



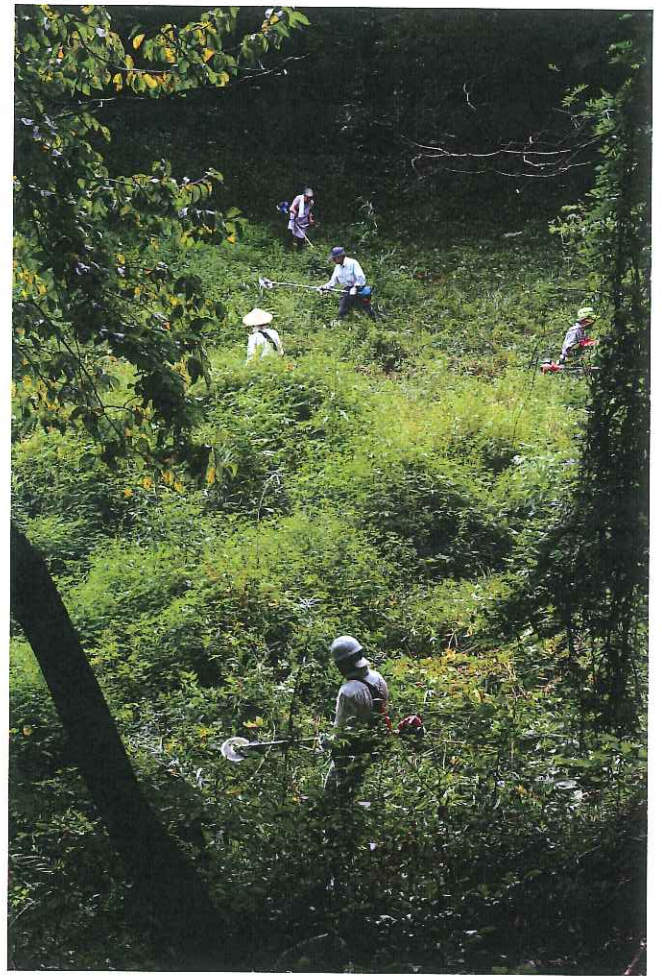
草刈り中



草刈り後

草刈り2（体験ほ場予定地）





午前中の作業で綺麗になりました

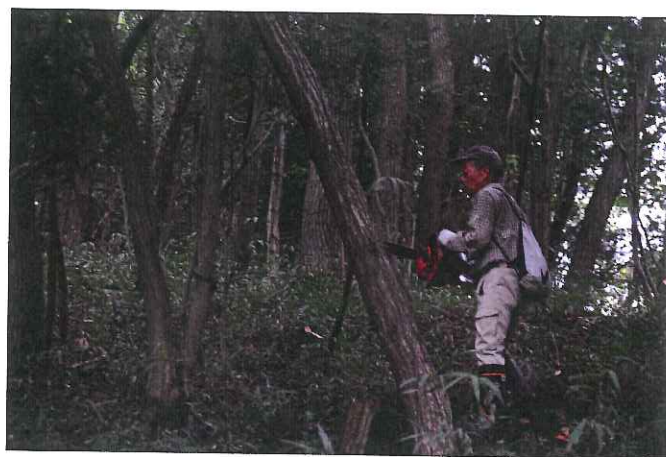
○ 遊歩道づくり

今は跡形もない「あぜ道」を復元。スコップを使っての重労働でした。



遊歩道が復元

○ 倒木の片付け



森のキャンプ場予定地
この先にビオトープ等を計画

○ 昼食・交流会

焼きそば、餅・とりのからあげ、そばがき等の昼食を頂きました。

交流会では小倉副代表から慰労のあいさつ後、今回の作業を行った場所でイノシシ等の調査を行っている坂本さんから生態・対策の説明、田中さんから大柿の名所旧跡、そして広沢さんから農業状況の紹介を受けました。

その後、飛び入り参加した琴奇県議をはじめ参加者一人一人から自己紹介や感想・今後の期待などを発表していただきました。



小倉副代表



坂本さん（イノシシの生態）



田中さん（大柿地区の名所旧跡）



広沢さん（大柿の農業状況）

